

ため池の泥流し「かいぼり」をしよう！

編集発行：兵庫県淡路県民局
洲本土改良事務所
農村計画第2課
電話：0799-26-2118

「かいぼり」とは？

稲の収穫期後の冬に、ため池の水を抜いて干し、池底にたまった泥や土砂を除去し、堤体にひび割れや水漏れがないか等を点検することで、ため池の適正管理と多様な生物たちの住みかの環境を守ってきました。



現在の「かいぼり」取組み状況

淡路島は、年間降雨量が少なく大きな河川も無いことから、農業用水確保のため、約1万箇所のため池があります。

ため池の利水・治水能力を維持する為に年間を通じて堤防の草刈りや、浸食状況の確認、池底の堆積土の除去、取水施設等の補修等の適正管理が必要です。また、かいぼりの際に外来種の駆除。(年々増加するアカミミガメは在来種の和亀を追いやり、ブルーギル等は在来魚を食べてしまいます。)

農村の過疎化や高齢化等により、ため池の適正な維持管理が年々困難な状況になっています。このため何十年間も底樋を開けず泥が堆積し、貯水量が減ったため池や、樋が機能せず梅雨時期や台風等の豪雨時に緊急放流が出来ない、危険なため池が沢山あります。

兵庫県では、平成21年度から「ため池防災点検マニュアル」を作成するとともに、田主の方を対象に「ため池防災点検講習会」を実施し、数年に1度はため池に堆積した泥の除去を行う「かいぼり」実施の指導をしています。

ため池の維持管理

かいぼりは、ため池の内部を観察できる貴重な機会です。この機会にため池の点検を行いましょう。

◆ 洪水吐

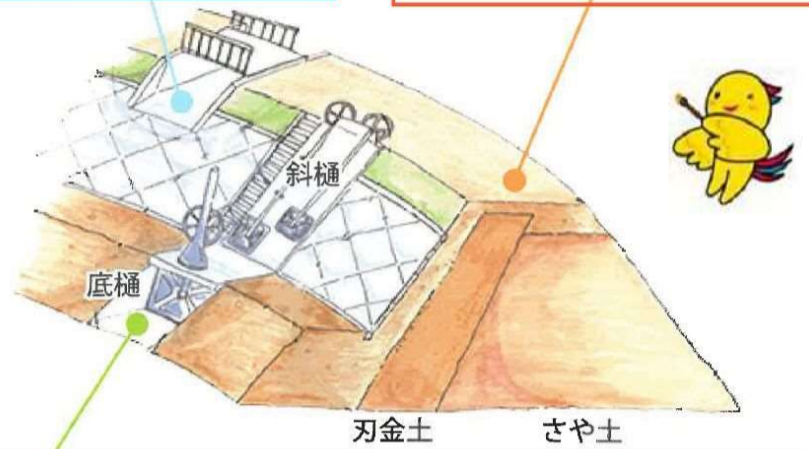
大雨の際に貯留水が堤体を乗り越えて流れないように、貯水池に流入した水を安全に流下させるための施設です。

- 水の流れを阻害する物があれば除去しましょう

◆ 堤体

水を通しにくい土(粘土)を締め固めて作られています。特に水を通しにくい土を刃金土といいます。

- 定期的に草刈りを行うと共に法面が浸食されていないか確認しましょう。



◆ 取水施設

ため池の水は、取水孔部から取り入れられ、斜樋及び底樋を通して用水路に送られます。斜樋は、通常何段かに分かれて取水ゲート又は栓が設置され、水位に応じて温かい水を取水できる構造になっています。

底樋は、斜樋から取り入れた用水の通り道であるとともに、ため池の底部にあって、ため池を空にするための排水施設としての役割も担っています。

- いつでも使えるように溜まった泥土を流せるように管理しましょう。



「かいぼり」を支援します！

県と淡路島ため池保全サポートセンターでは、ため池の「かいぼり(泥流し)」を支援しています！

1. 「かいぼり推進事業」の助成金の活用

かいぼり用具の購入や重機借上げなど「かいぼり」のための費用として、1地区最大20万円まで補助します。補助の対象は、①漁業者や団体との協働での実施。②ため池堆積土の農地還元(有機肥料として活用)などです。(受付順に審査)。



<活用の具体例>

- ①資機材の借上げ費用(重機や排水ポンプ等のリース料)。
- ②必要資材の購入費用(土のうやコンパネ等)。
- ③胴長やジョレン等の用具類の購入費用。
- ④堆積土砂の農地還元にかかる経費(重機やトラックの借上げ等)
※人件費や弁当代等は対象になりません。

尚、適用基準がありますので詳細は下記に問合せ下さい。

2. 資機材の貸出し

- ①消防ポンプ式・ジョレン・レーキ。
- ②胴長靴。



■ 問合せ

- ・淡路島ため池保全サポートセンター
〒656-2292 淡路市生穂新島8 淡路市役所1号館
TEL 0799-64-1203(直通) FAX(電話と同じ)
- ・淡路県民局 洲本土改良事務所 農村計画第2課
〒656-0021 洲本市塩屋2-4-5
TEL 0799-26-2118(直通) FAX 0799-22-2510

3. 「多面的機能支払交付金」の活用

この制度を活用し、かいぼりの実施が可能です。

■ 問合せ

- ・洲本市産業振興部 農地整備課 ☎ 0799-24-7639(直通)
- ・南あわじ市産業建設部 農地整備課 ☎ 0799-43-5225(直通)
- ・淡路市産業振興部 農地整備課 ☎ 0799-64-2190(直通)



① 農漁業協働 → 豊かな里海づくり

「かいぼり」は豊かな里海づくりにも役立ちます。農業者の高齢化による人手不足と漁業者の養殖ノリの色落ち。ため池の泥流しでノリや海藻に必要な栄養塩を補給します。島内では農業者と漁業者が協力してかいぼりを行う例も増えています。

漁業者と農業者の協働による「かいぼり」は双方にメリットがある取り組みです。県では漁業者と農業者が協力して取り組んで行けるよう「かいぼり」の時期の調整や情報の提供等の支援を行い、豊かな里海づくりに取り組んでいます。



② ため池堆積土の農地還元 → 地力UP 大田池：淡路市釜口

水田や畑の表層土壌確保のために、ため池に堆積した土砂を水切り等の処理を適正に行い、農地に還元することが効果的です。特に、老朽水田の農地土壌の改良には有機物の多いため池の底土は有機肥料としての効果が期待されます。



かいぼり特色ある事例

【1】農地還元（堆積土を農地に搬入）清水池：淡路市野田尾（田主：5名）

作業内容：近隣の田んぼに搬入、有機肥料として活用。



【2】農地還元 河内新池：淡路市河内（田主：8名）

作業内容：堆積腐葉土を人力攪拌し下流の田んぼに泥水を流し農地に還元した。



また、コンボで腐葉土を採取し大型土のうに入れてダンプで近隣の耕作地に運搬して農地還元した。



【3】ボランティア活用 → 各種団体との協働 西ノ池&谷田池：南あわじ市湊里

特色：田主18名・漁協10名・コープこうべ33名・淡路信用金庫8名が参画。コープの豚汁と炊出しが、参加者に振舞われた。



【4】里海交流 → 田主と漁協の協力作業 一谷池：淡路市中持（田主：10名）

特色：農業者と森漁協&仮屋漁協が協議会（淡路東浦ため池・里海交流保全協議会）を設立して毎年2箇所実施。役員会、総会も定期的開催。県立景観園芸学校等の学生も参加。学生による生物調査も行われた。



淡路東浦ため池・里海交流保全協議会の活動

淡路市東浦地域では、平成20年から農業者と漁業者が連携してかいぼりを行う「ため池♥里海交流保全活動」を実施。平成22年には協議会を立ち上げ、活動の範囲も旧東浦町全域で取組まれている。この活動が高く評価され、平成30年度には「第2回インフラメンテナンス大賞」の「農林水産大臣賞」を受賞しました。



【5】民活 → 地元民間団体と協働 春長池：洲本市大野

（田主：6名・淡路信用金庫：5名）



【6】恒例イベント → 大学生&子供会が参加 大森谷上池：洲本市上内膳

（田主：6名・龍谷大学：16名・地元子供会：15名）

特色：地域行事に龍谷大学生が参加。「かいぼり」はその一行事。当日は池でとれた鯉の刺身と味噌汁を味わった。



【7】消防団と協働実施 片山池：洲本市中川原町三木田（田主：8名・洲本市消防中川原分団：6名）

作業内容：消防団員の消防ポンプの操作及び放水訓練を兼ねて実施した。



【8】底樋の開かない池の排泥 → モバイルポンプ活用 内ヶ池：淡路市久留麻

（農業者と森漁協&仮屋漁協：50名）作業内容：移動式大型ポンプ車で堤体越しに汚泥を水路に放流。



【9】底樋までの水抜きに → モバイルポンプ活用 大田池：淡路市釜口

作業内容：貯水量が多く、サイフォンでの水抜きで間に合わず、急遽活用。

